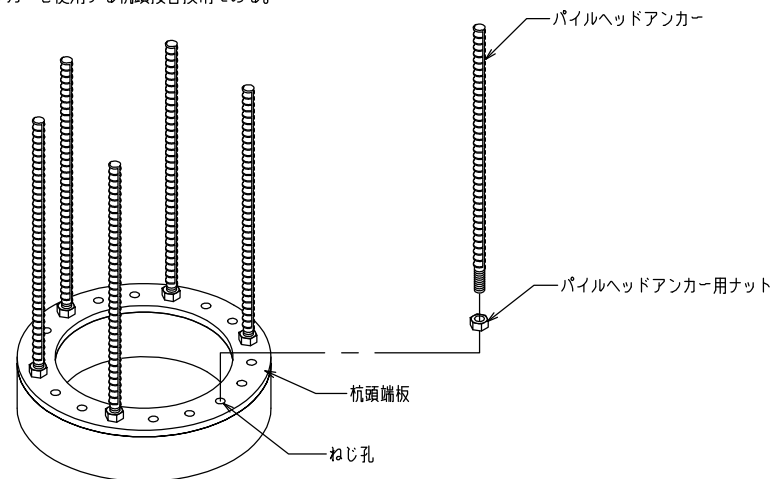


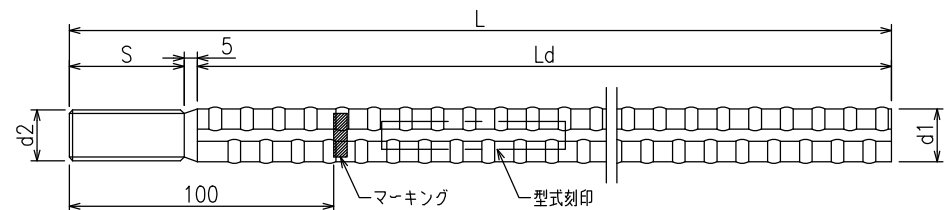
◎工法概要

パイルヘッドアンカー工法は、既製コンクリート杭（PHC杭またはPRC杭）杭頭端部へ杭体製造時に設けられたねじ孔に、異形鉄筋の片側をねじ加工したパイルヘッドアンカーをねじ込み、パイルヘッドアンカー用ナットを既定のトルク値で締め付けることにより、杭頭端部とパイルヘッドアンカーを機械的に接合するものであり、杭と基礎（フーチング）との接合鉄筋としてパイルヘッドアンカーを使用する杭頭接合技術である。

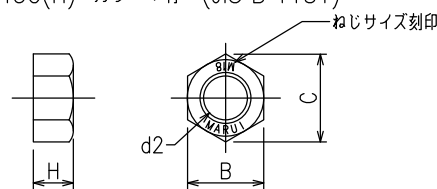


◎製品規格

- ① パイルヘッドアンカー
SD345(JIS G 3112)



- ② パイルヘッドアンカー用ナット
S45C(H) カラー：青 (JIS B 1181)



◎杭仕様およびパイルヘッドアンカー型式

[illegible]

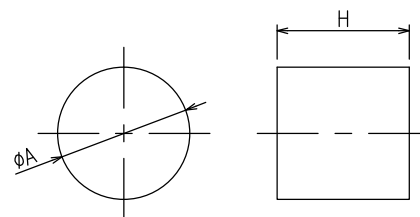
※パイルヘッドアンカーの型式は杭頭端板のねじ径により決定されるため確認を行う。

◎製品型式および寸法

型式	1.パイルヘッドアンカー					2.パイルヘッドアンカー用ナット				※ 基準 トルク値 (N・m)
	d1	d2	L	Ld	S	d2	H	B	C	
M18 -L520	D19	M18	520	475	40	M18	15	27	31.2	160
W3/4-L520	D19	W3/4	520	475	40	W3/4	16	32	37.0	210
M20 -L605	D22	M20	605	560	40	M20	16	30	34.6	230
M22 -L605	D22	M22	605	560	40	M22	18	32	37.0	310
W7/8-L605	D22	W7/8	605	560	40	W7/8	18	35	40.4	280
M24 -L690	D25	M24	690	635	50	M24	19	36	41.6	450
W1 -L690	D25	W1	690	635	50	W1	20	41	47.3	480
M27 -L780	D29	M27	780	725	50	M27	22	41	47.3	550

※締め付けトルク値は杭頭端板の板厚、ねじ形状により計算するため、施工要領書に記載の数値を確認する。

◎パイルヘッドアンカーキャップ（ねじ孔養生材）

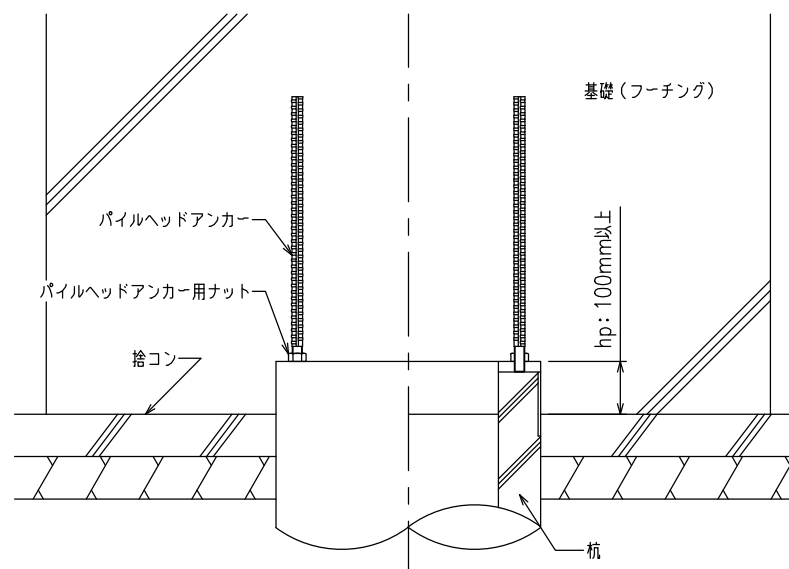


材質：スポンジタイプ

型式	適応サイズ	φA	H	カラー
φ18-20	M18・M20・W3/4	19.5	20	赤
φ22-24	M22・M24・W7/8	23	20	青
φ25-27	M27・W1	27	20	緑

※必要に応じてガムテープ等で養生を行う

◎標準施工図



※杭の基礎への埋め込み深さ h_p は 100mm 以上とし、設計者と協議の上決定する。

※杭内部の中詰めコンクリートはhp以上充填する。

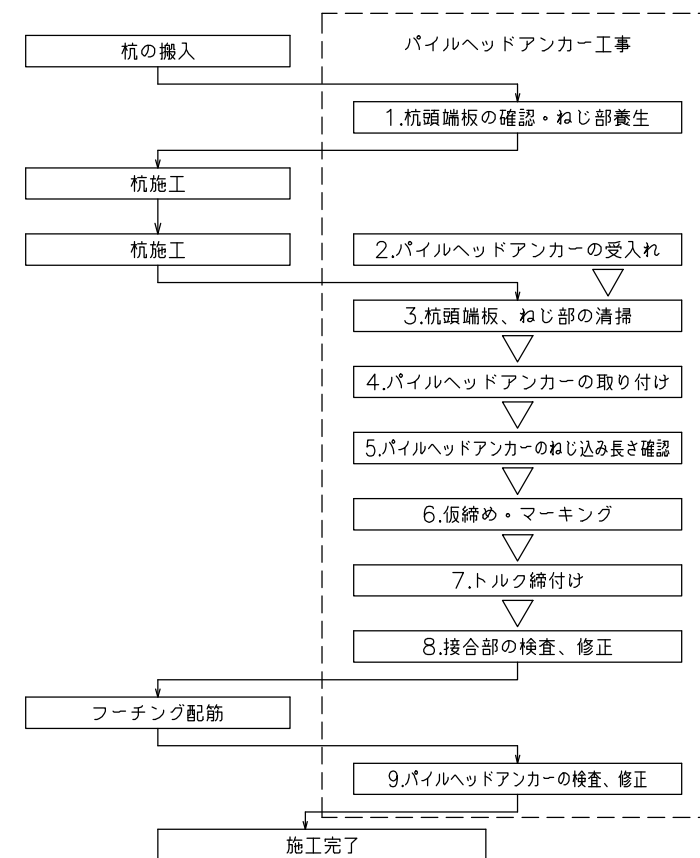
※パイルヘッドアンカー上端と基礎天端のかぶり厚さに注意する。

※上図は標準的な施工図であり、詳細については設計者と協議の上決定する。

◎管理要領

1. 施工に先立ち、設計図書に基づき杭頭接合部の計算を行い、施工本数・配置を確認する。
2. パイルヘッドアンカーには製品の型式が印字されているので、適正な型式であるかまた、変形や傷がないか確認する。
3. パイルヘッドアンカーを直接地面に置くことは避け、各型式ごとに整理し、雨・泥・油等で汚さないように保管する。

◎施工手順



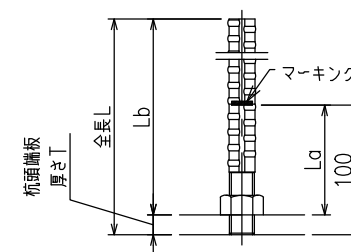
※パイルヘッドアンカーの取り付け工事は丸井産業株式会社の施工指導を受けたものが施工を行う。

※パイルヘッドアンカー工法の施工に関する詳細は建設技術審査証明報告書「BCJ-審査証明-225」および施工要領書による。

④検査項目

本標準図以外の検査項目は施工確認シートによる。

- 5.ねじ込み長さの確認
 $L_a \leq 100 - \text{杭頭端板厚さ} T$
 $L_b \leq \text{全長} L - \text{杭頭端板厚さ} T$



- 8.接合部検査・確認
所定の位置に正しく施工されているか
→配置図参照
マーキングにズレがあるか

